

# 血液回路固定の工夫を試みて

## 回路固定の方法と固定帯の見直し

2003年中国腎不全研究会で発表

松江腎クリニック

# はじめに

前回、固定帯を考案し上腕で固定する方法を実施し、治療中の拘束感が軽減でき活動性が高まったことを報告した。その後1年半を経過し固定帯使用による回路固定が定着し好評と思えたが、患者の肌に滑り止めテープの跡がついていることから固定帯の材質、滑り止めテープの必要性・安全性を考え改良を行ったので報告する。

# 方法

1. 固定帯使用についてのアンケート実施改良点を明確化し固定帯の改良を行う。
2. スタッフ間で統一した手技が行えるようにした。
3. 固定時の回路強度を測定することで適切な固定方法を検討した。

# アンケートの実施・結果

③

血液回路固定についてアンケートのお願い

固定帯の肌触りはいかがですか ①良い ②悪い

回路固定について感じていることを次の中からお選びください  
(複数回答可)

- ①安心感がある ②気になる ③邪魔に感じる
- ④肩がこる等不快感がある
- ⑤食事や身体を動かすときに不自由さを感じる
- ⑥手を動かしにくい ⑦回路の重さを感じる
- ⑧何も思わない⑩跡がつくのでいやだ ⑪暑くて蒸れる
- ⑫かゆくなる ⑬固定帯での痛みを感じる
- ⑭固定帯での締め付け感があり不快を感じる

今の固定方法で針が抜けないかという不安をお持ちですか  
はい いいえ

回路を手を持つ方法と持たない方法とどちらが良いですか  
持つ 持たない

ご協力ありがとうございました

(内容抜粋)

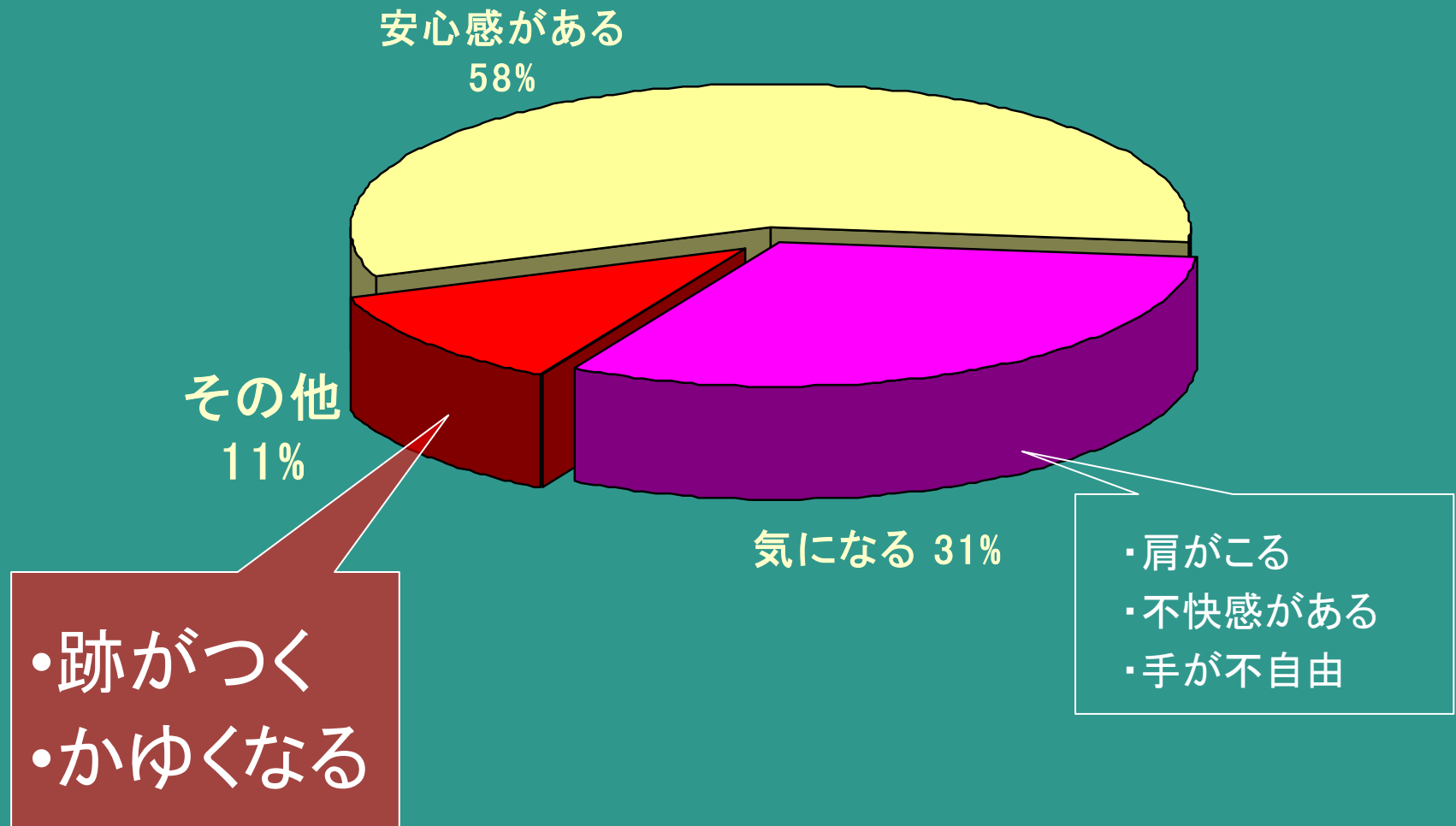
※ 固定帯は8割以上の患者  
が使用している。

材質・滑り止めテープによる不快感、違和感  
は医療者が思う回答ではなかった。

現在の固定方法で抜針の不安を持っている患者は少なかった。

回路は把持しない方法が良いとの答え多かった。

# 固定帯使用者の意見は・・・



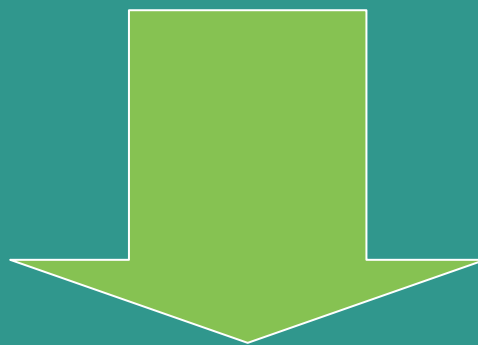
# 固定帯使用は好評と思えたが・・・⑤

## 患者側

固定帯の跡がつく  
滑り止めテープでかゆい

## スタッフ側

返血時、固定帯の跡があり  
気になる



材質・滑り止めテープの必要性を考えて見直す

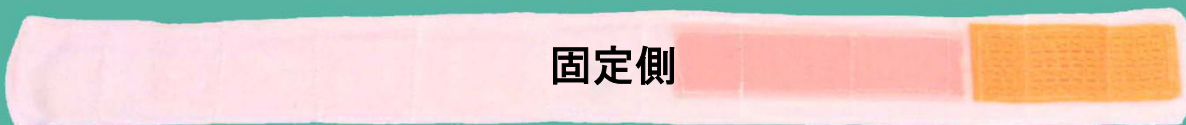
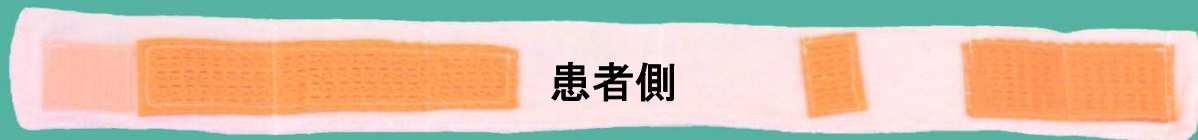
# 固定帯改良の過程

	従来型	改良型
材質	肌触りが柔らかいパイル地	患者側 従来と同様パイル地 固定側 <u>マジックテープが自由に接着できるトイクロス使用</u>
滑り止めテープ 患者側	固定部位と固定帯が滑らないように <u>3ヶ所に使用</u>	<u>テープ廃止</u>
固定側	回路が滑らず固定できるように1ヶ所に使用	<u>移動可能なマジックテープ</u>
固定帯の幅/長さ	4.0cm 40cm,45cm 上腕周囲径より使い分ける	4.5cm 50cm <u>上腕周囲径に関係なく全患者に対応</u>
固定部位・方法	上腕部にループを作り固定	

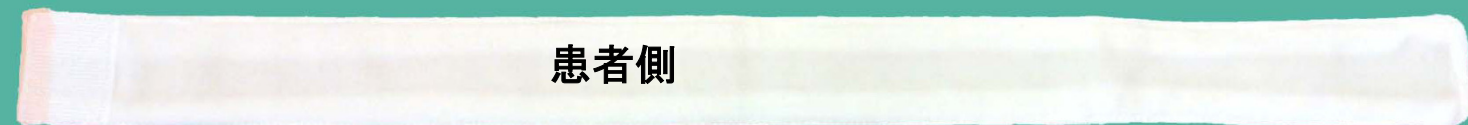
# 従来型・改良型固定帯

⑦

従来型



改良型

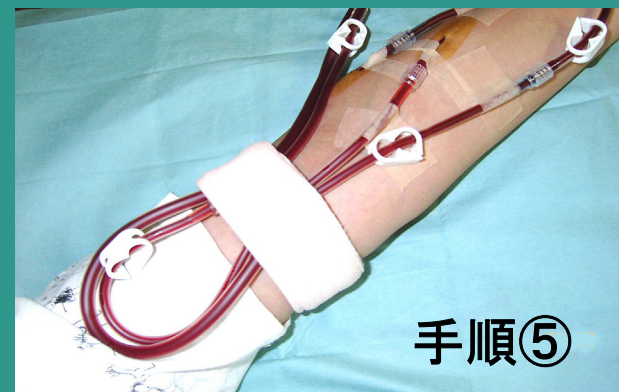
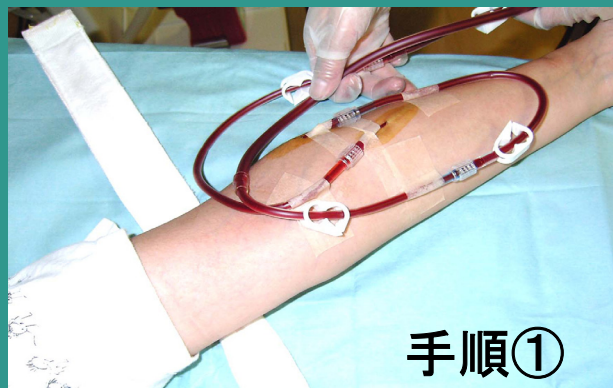




# 血液回路の固定手順

⑧

スタッフ間で統一した  
固定帯使用手順



# 改良型固定帯の使用感は・・・

⑨

- 滑り止めテープがなく肌触りが前より良くなった
- 滑り止めテープがなくなったので跡がつかなくなり、かゆみもなくなった

患者の意見

- 滑り止めテープを移動可能にしたことで同じ長さで全患者に対応できるようになった
- 滑り止めテープをU字にすることで回路がずれにくくなった

スタッフの意見

# 固定帯の強度測定

固定帯の強度をバネばかりを用いて引っ張りテストを行った。上方向(写真1)、下方向(写真2)いずれも3~5kgで回路が滑り出したが、抜針までには至らなかった。



固定帯を使用した回路固定は安全に行えている



写真1

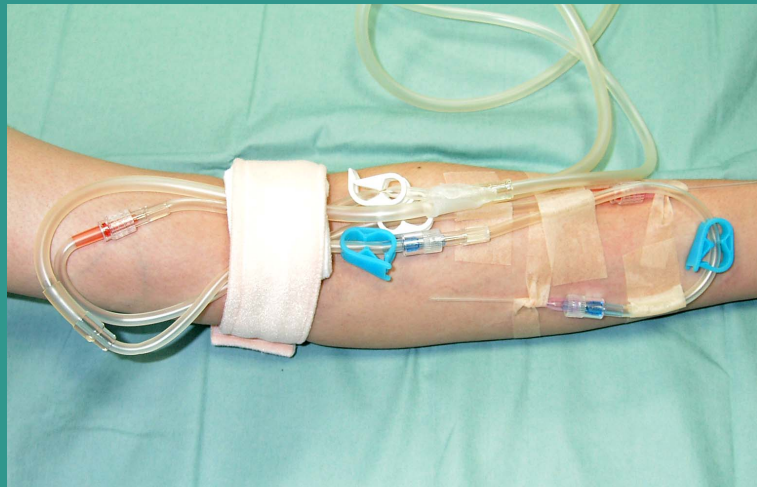


写真2

# まとめ

改良型固定帯は、

- ①患者側の滑り止めテープを廃止することで固定帯の跡がつかなくなった。また、従来型より簡便に低価格で作成することができた。
- ②同一の長さで全患者の固定部の大きさに応じた固定が可能となった。
- ③固定帯を使用し統一した手技により安全に血液回路固定が行えている。
- ④患者に「動いてはいけない」という潜在的意識をうえつけることがないよう治療時間を過ごされることにおいて有効であるといえる。